

高校生を対象とした気仙地方林業職場体験会について

大船渡農林振興センターでは、気仙地方の林業・木材業の事業者等で構成する気仙地方林業振興協議会と連携して、林業・木材産業の担い手確保を目的に、高校生を対象とした「林業職場体験会」を開催したので、その概要を紹介します。

1 林業職場体験会の概要

林業職場体験会は、令和6年9月18日(水)、大船渡市赤崎地内の「気仙地方森林組合」スギ伐採現場及び陸前高田市の「けせんプレカット事業協同組合」プレカット工場を会場に、大船渡東高等学校農芸科学科1年生12名を対象に実施しました。

(1) 林業用機械操作体験

気仙地方森林組合職員の指導のもと、スギ丸太を使って、ハーベスタ、グラップル、フォワーダの操作体験を行いました。



林業機械操作体験

(2) 森林計測体験

当センター職員の指導により、高校生が立木の樹高を目視とバーテックスで測定したのち、組合職員が実際に伐倒し、長さを計測しました。

(3) ドローン操作体験

当センター職員の指導により、高校生がドローンを実際に操作し、上空から自分達や森

林の映像をタブレットで確認するなどの体験を行いました。

(4) プレカット工場でのCAD入力・組立て体験・工場見学

プレカット工場職員の指導のもと工場見学と簡易構造物のCAD入力を体験、その後工場を用意した入力図面どおりの部材の組み立てを体験しました。



CAD体験

2 参加者感想等

高校生からは、「環境や地域のために役立っている仕事だと分かった」「家が建つまで沢山の方が関わっているのが分かった」「この体験を通じて林業の仕事が選択肢の一つになった」など、林業に対する意識が変わり、将来、林業・木材産業に関わってみたいなど、将来を見据えた意見が多くありました。

3 今後に向けて

当センターでは、気仙地方林業振興協議会と連携を図りながら、次代を担う若者の地元定着、そして林業・木材産業の人材確保につながる取組を継続していきたいと考えています。